

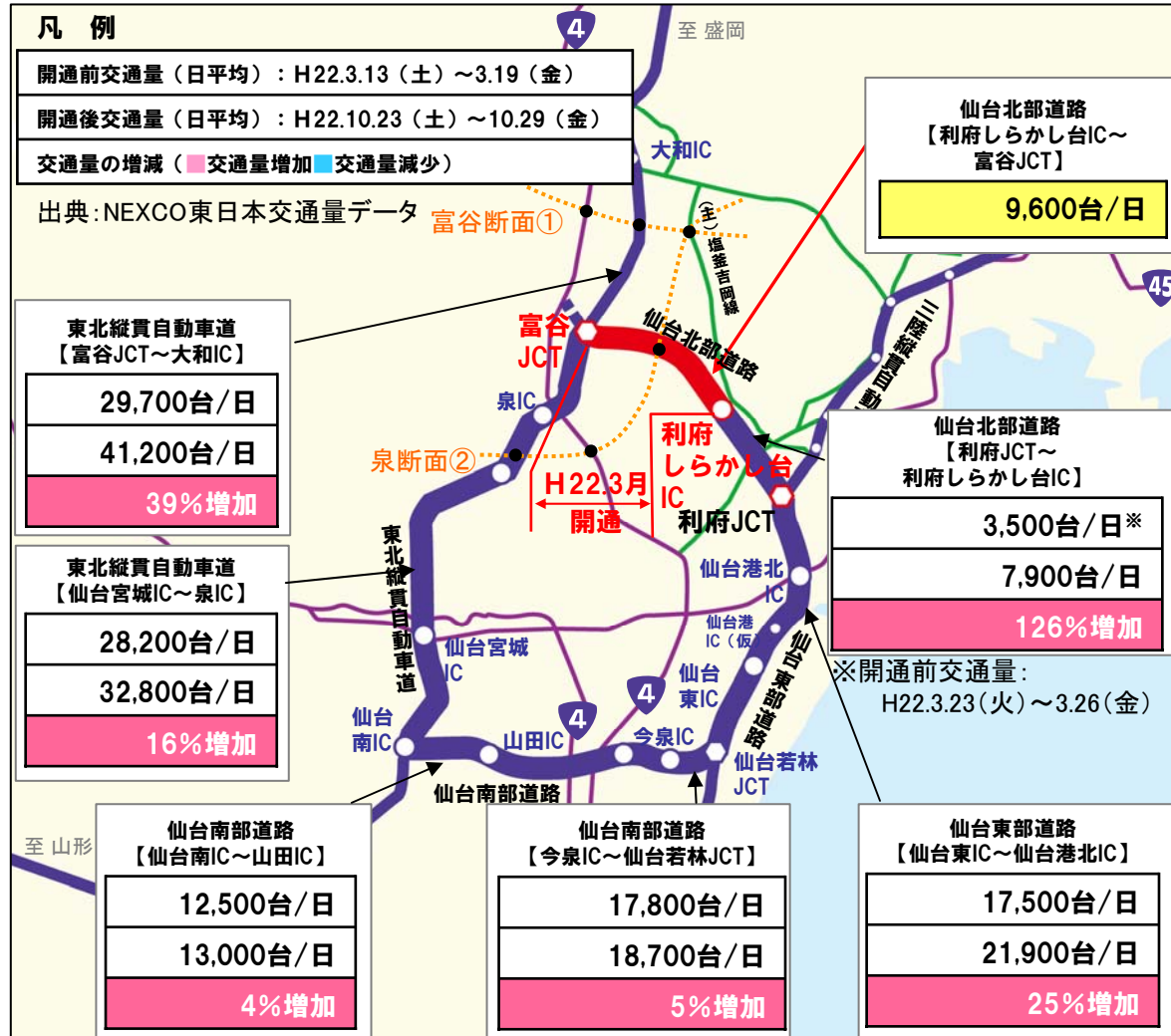
【仙台北部道路半年後】

仙台北部道路(利府しらかし台～富谷JCT)開通により

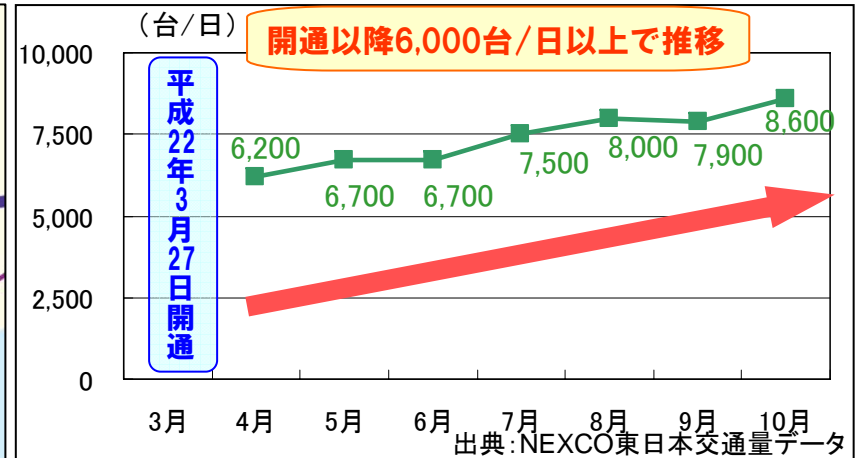
(資料-2) ②仙台都市圏高速環状道路(ぐるっ都・仙台)が形成され交通量が増加しています

仙台北部道路(利府JCT～利府しらかし台IC)の交通量は7,900台/日であり、開通半年後で126%増加しています。

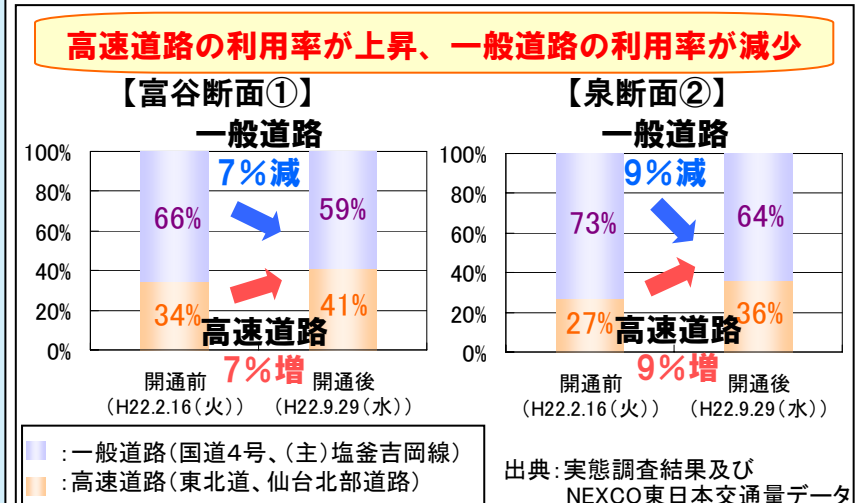
- 仙台北部道路の開通により、仙台都市圏高速環状ネットワークが形成され、仙台北部道路(利府JCT～利府しらかし台IC)の交通量は7,900台/日、仙台東部道路(仙台東IC～仙台港北IC)の交通量が25%増など利用交通量が大きく増加しています。
- 仙台北部道路等の交通量増加により、周辺地域では一般道路から高速道路へ交通が7～9%程度転換するなど、一般道路の負荷が低減しています。



▲都市圏高速環状道路の主要区間別交通量の変化(日平均)



▲仙台北部道路(利府しらかし台IC～富谷JCT)月平均交通量の推移



▲主な断面での高速道路と一般道路の交通分担

③周辺道路の混雑が緩和しています

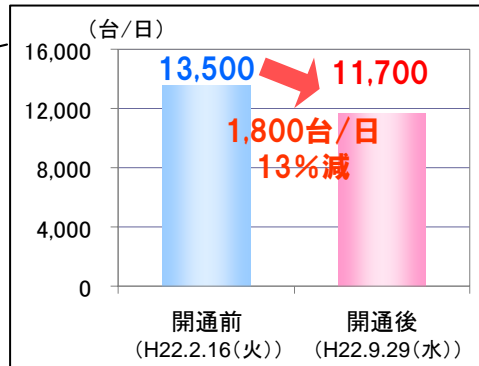
仙台北部道路と並行する(主)塩釜吉岡線の交通量が1,800台/日減少し、ピーク時の走行速度が9km/h向上しています。

- 仙台北部道路の開通後、並行する国道4号の交通量が900台/日、(主)塩釜吉岡線の交通量が1,800台/日減少しており、仙台北部道路へ交通が転換しています。
- 国道4号や(主)塩釜吉岡線では、ピーク時の走行速度も7~9km/h向上し、周辺道路の混雑が緩和しています。

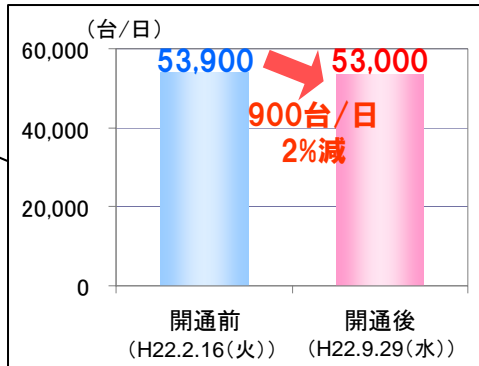


▲周辺交通量の変化

【①(主)塩釜吉岡線】

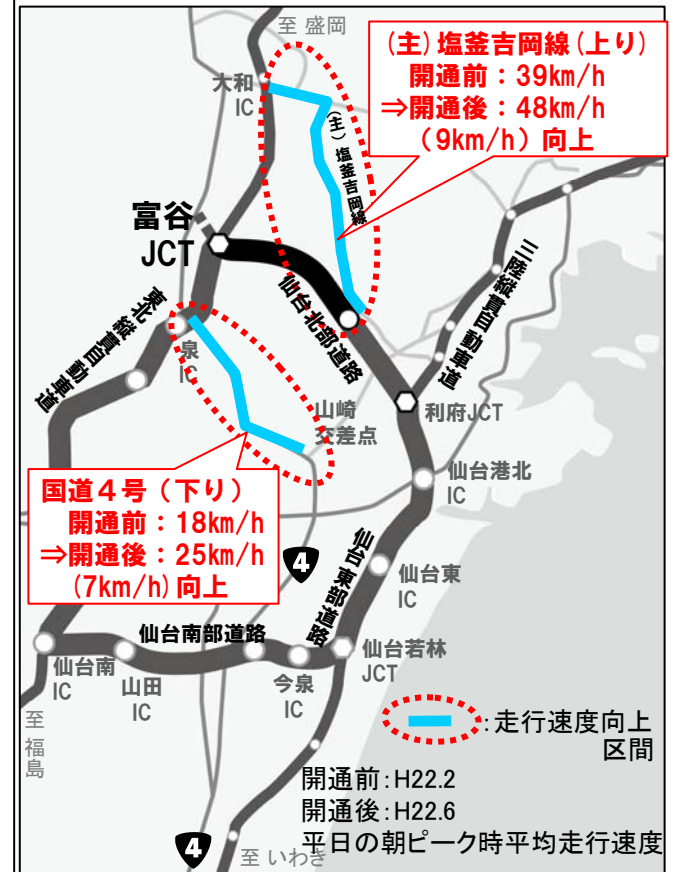


【②国道4号】



出典:

- ①(主)塩釜吉岡線(大和町鶴巢幕柳)交通実態調査
- ②国道4号(仙台市泉区七北田)交通量データ



▲ピーク時走行速度向上箇所

出典: 民間プローブデータ

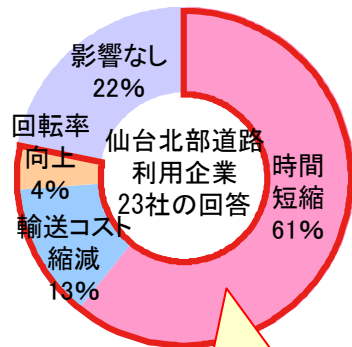
④輸送時間の短縮により物流の効率が向上しています

アンケート結果より、仙台北部道路を利用している製造業・運送業の約8割が時間短縮や輸送コストの縮減効果があると回答しています。

- 仙台北部道路を利用している企業の約8割が時間短縮や輸送コストの縮減等の効果を感じています。
- 自動車輸送企業等では、輸送時間短縮や人件費の抑制につながっています。

■企業アンケート結果

◆仙台北部道路の開通による影響



企業の約8割が効果を実感

出典:企業アンケート調査

◆その他の影響

- ・緊急時の対応が可能
- ・時間信頼性が向上
- ・経路の選択肢が増加
- ・安全性が向上



▲仙台北部道路を利用している企業

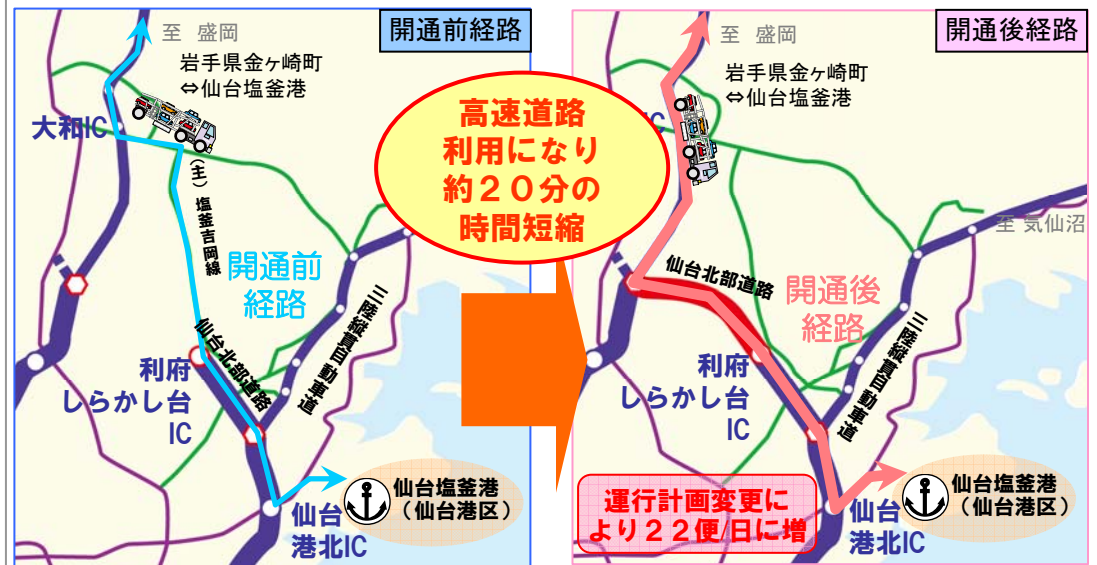
<企業アンケートの概要>

宮城県内外の製造業、運送業を対象に北部道路の利用実態について122社にアンケート調査を実施し、46社から回答をいただき、23社が仙台北部道路を利用。

■仙台北部道路の開通による効果事例

【自動車輸送企業への効果例①】

・完成自動車を輸送するA社では、運行計画の変更により輸送便数を増加しましたが、北部道路利用へ輸送経路を変更したことにより、**約20分の時間短縮**につながりました。



出典:A社(自動車輸送業)企業アンケート調査

【その他企業への効果事例②】

・仙台北部道路を利用する経路変更により、輸送時間が往復で大きく短縮し、**人件費が抑制(年間約200万円)されました。**

出典:B社(石油類・鉱物類卸売業)企業ヒアリング調査

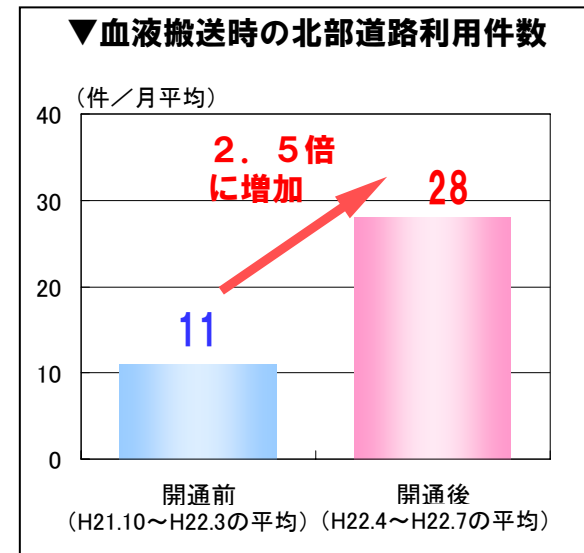
⑤迅速な血液搬送を支援しています

仙台北部道路を利用した血液搬送件数が11件/月→28件/月(2.5倍)に増加。

- 仙台北部道路の開通半年後、宮城県赤十字血液センターから、仙台北部道路を利用した血液搬送が11件/月から28件/月(2.5倍)増加し、仙台港北IC付近の病院への搬送が仙台北部道路を利用した経路になり、時間短縮、安定搬送につながっています。



仙台港周辺の病院への搬送はこれまで一般道経由でしたが、仙台北部道路の利用が可能となり搬送時間が短縮しました



【血液センターの声】

- ・仙台港北IC周辺の病院への搬送は、富谷JCT～しらかし台IC開通前は、国道4号⇒(主)泉塩釜線(免許センター前)あるいは国道45号⇒仙台港北ICを通過していましたが、開通後は泉IC⇒仙台港北ICを利用しています。
- その結果、病院までの搬送時間を短縮することができました。

出典:宮城県赤十字血液センターヒアリング

仙台北部道路沿線の住民(仙台市泉区、大和町、富谷町)の行動範囲が仙台東部道路沿線にまで拡大しています。

- 仙台北部道路開通後、日常生活での仙台北部道路の利用者は、55%が買い物目的となっています。
- 仙台北部道路開通後に日常生活での利用者の42%が移動先を変更し、そのうち79%が「仙台北部道路による行動圏(範囲)の拡大」を理由としており、生活行動に変化をもたらしています。

■仙台北部道路利用者アンケート結果

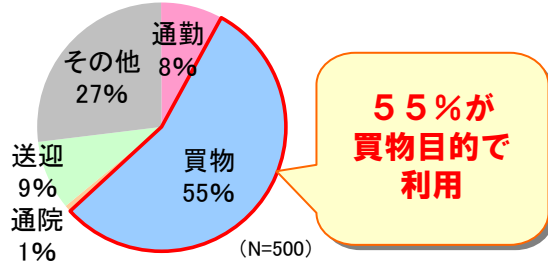
◆移動先を変更した理由

仙台北部道路の開通により行動圏(範囲)拡大となった	行きたい場所が沿線に進出した	目的地が移転した	その他
164/208(人) 79%	17/208(人) 8%	42/208(人) 20%	7/208(人) 3%

※複数回答

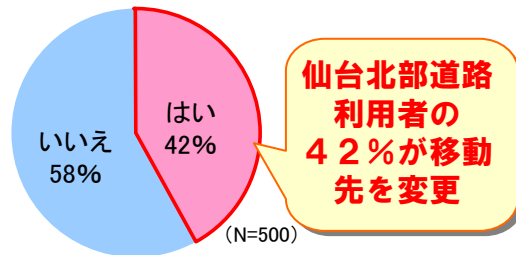
仙台北部道路の開通により行動範囲が拡大した

◆仙台北部道路開通後の日常生活での利用目的



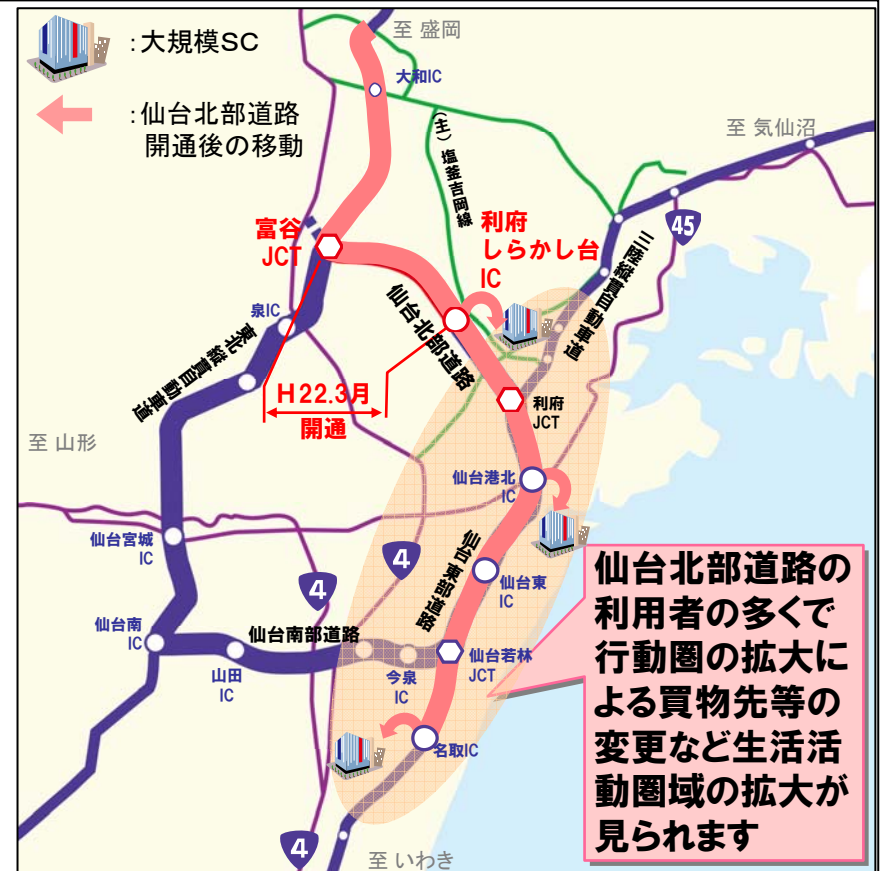
55%が買物目的で利用

◆仙台北部道路開通後、移動先(買物先等)を変更したか



仙台北部道路利用者の42%が移動先を変更

出典: 宮城県居住者で仙台北部道路利用者(業務・観光での利用者を除く)を対象としたアンケート調査



仙台北部道路の利用者の多くで行動圏の拡大による買物先等の変更など生活活動圏域の拡大が見られます

▲移動先(買物等)の行動圏域拡大状況

【ショッピングセンターの声】

- ・秋田県・岩手県・青森県ナンバーの割合の変化が若干増加しました
- ・仙台北部道路が開通したことにより案内がしやすくなり、誰にでも最寄ICを教えられるようになりました

出典: 仙台北部道路沿線のショッピングセンターヒアリング調査

<仙台北部道路利用者アンケートの概要>

宮城県内居住者(18歳以上)で、仙台北部道路を日常生活で利用した500名を対象に、仙台北部道路の生活面への影響についてアンケートを実施。